

再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容の公表資料

■導入した設備の概要

設備	メーカー	型式	1台の能力	数量	総出力
太陽電池モジュール	パナソニック（株）	VBHN325SJ53	325W	59枚	19.175kW
太陽電池モジュール	パナソニック（株）	VBHN232SJ52	232W	87枚	20.184kW
パワーコンディショナー	パナソニック（株）	VBPC255GS2	5.5kW	1台	5.5kW
パワーコンディショナー	（株）安川電機	CEPT-P2AA2010C	10kW	4台	40kW
蓄電システム本体	パナソニック（株）	LJMH20BK	20kWh	2台	40kWh
蓄電池	パナソニック（株）	LJ-SBH01	53.52Ah	16台	856.32Ah
蓄電システム専用収納箱	パナソニック（株）	LJ-CB01	—	2台	—

■導入場所

住所	東京都港区芝公園2-9-3
会社名	世紀東急工業株式会社
建物名	世紀東急工業本社ビル
建物規模	延床面積：2,955.17㎡、階数：地下1階地上10階

■導入状況



太陽光発電パネル（屋根面）



太陽光発電パネル（壁面）



蓄電システム

■導入目的

太陽光発電パネル（屋根面59枚・壁面87枚）・パワーコンディショナー・蓄電システムを設置し、災害時のBCP対応の電力確保（24時間対応）を行う為に導入を検討いたしました。

■他の事業者に向けた再エネ設備導入の参考となる情報

当初はBCP対応を念頭に導入の検討を開始したが、社会全体がカーボンニュートラルの実現に向け動き出すなか、可能な範囲で、創エネ・省エネ設備を導入することは、もはや企業の社会的責任の一つともいえる状況となった。当社では、2022年8月に、2030年までの温室効果ガス排出削減目標に関してSBT認定を取得したところだが、ZEB Readyを実現する下記の省エネ設備とあわせ、少なからず、今後の削減計画に貢献できると考えている。また、導入検討時の想定を上回る電気料金の高騰が続いていることから、今後のコスト削減効果にも期待している。顧客をはじめとするステークホルダーからの反応も好意的であり、導入コストは小さいものではなかったが、総合的にみても導入のメリットは大きかったと評価している。

■省エネルギー対策の取組内容

- Low-E複層ガラス・断熱材の厚み増・外装フィン設置による、建物の外皮性能の強化
- 太陽光発電パネルの設置による、ビル共用部分への再生電力の供給
- 蓄電システムの設置による、BCP電源の確保
- 高効率空調機、高効率熱源機および超高効率変圧器の採用
- デシカント空調による温湿度の無駄のないエネルギー制御
- 輻射空調による、気流のない快適なオフィス空間の構築
- 全熱交換機および空調機のナイトパーシ運転・CO2制御による、空調負荷低減
- 自然換気設備の設置による、中間期の空調負荷低減
- 全館LED照明、DALI制御を用いたマルチセンサ（人・明るさセンサ）による、照明の消費電力の削減

上記省エネルギー対策により、エネルギー消費量62%削減、ZEB Ready達成。